

# 豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R4(2022).8.18  
豊岡市のホームページにもアップしています

No.5

豊岡市教育フォーラム  
参加者 239名

## 豊岡市における非認知能力の向上の取組

平田オリザ氏による基調講演より

### 学校でしかできない学びを取り戻すチャンス

大学入試に求められる学力

共通テスト …「基礎的・基本的な知識・技能」

個々の大学 …「思考力・判断力・表現力」

「主体性・多様性・協働性」

※「主体性・多様性・協働性」を土台にして  
「思考力・判断力・表現力」を育て「知識・  
技能」を身に付ける

※「主体性・多様性・協働性」を育むこと  
は、学校が得意とするところ

### 本物に触れる教育を！

身体的文化資本の地域間格差が広がっている  
【身体的文化資本とは…

センス、マナー、コミュ能力、感性等】

※学校教育に本物に触れる、コミュ能力を育  
む取組を！⇒ふるさと教育、コミュ教育等

### 一番学んでいるのは、他の子に教える子

※子どもたちは友だちの成功や失敗体験、意  
見から大きな影響を受けている

※こっそり隣の子に教える優しい子どもを育  
てませんか？⇒子どもに寄り添う教育等

わたなべ氏、高瀬先生、小山先生による  
実践交流より

### 子どもを観るときの視点は？(わたなべ氏)

フラットな立ち位置で関わる

↓  
先入観を持たず、一緒に劇づくりをする仲間、  
一人の表現者として関わる

子どもを一人一人の個としてみる

↓  
その子がどういう子で、何を考えているのか、  
背景を探る

子どもを「できる存在だ」と認識する

その子の「できる」ことを見極め、何ができて  
いるのか(行動)、何をやろうとしているのか  
(向かい方)考え、個々の目標を設定する

※この作業をすべての子どもに、  
また一人の子どもに複数回繰り返す



### 子どもを信じること(高瀬先生)

演劇WSでは、その場でメンバーになった子  
と「最後にみんなにみてもらう」という目標に  
向かって一生懸命話し合っていた。

教師の先入観にとらわれず、子どもを  
信じてチャレンジしていきたい。



### 一人一人に応じた関わり(小山先生)

自分の考えを持つこと、伝えることが苦手な  
子どもがいた。2学期から3学期にかけての  
成長を感じ「何か1つできることを頑張ろ  
う」と声をかけた。仲間の働きかけにより  
自分の役になり切って演じることができた。



苅宿俊文氏による総括助言及び講義より

### 演劇WSは効果がある

演劇WSにより「やり抜く力(自己効力感)」「  
自制心」「協働性」は高まっている  
⇒3観点とも最終回の値が最高値

学級がコミュニティとして成長している  
⇒各WSの実施前の数値も徐々に上がっている

プログラムが有効である

演劇WSを通してコミュ力高め仲間づくりをす  
ることに焦点化されている

### 全教育活動を通じて非認知能力を高める

注目すべきは【メタ認知する力】

※子ども個人で、また他者と交流しながら  
活動を振り返りメタ認知する力を高める  
※子どもたちのよい言動を言語化して、他  
の活動とつなげる

「演劇WSの時みたいに…」

「あのとき成功したみたいに…」

成果再現